

令和5年中における安全運転管理者選任事業所の交通事故発生状況（千葉県内）

本資料は、安全運転管理者選任事業所、又は運転代行業（以下「安管事業所」といいます。）の従業員が千葉県内において業務中又は通勤中に起こした人身事故を分析したものです。

注1：物件事故（人の死傷を伴わない事故）の数値は含まれていません。

注2：安管事業所の従業員が起こした事故であっても、買物やレジャーなどプライベートな業務中の事故の数値は含まれていません。

注3：他県の安管事業所の従業員が千葉県内で起こした事故の数値が含まれていますが、本県の安管事業所の従業員が他県で起こした事故の数値は含まれていません。

1 安全運転管理者等選任事業所の交通死亡事故の概要（千葉県内）

番号	発生日時	場 所	路線名	第1当事者	第2当事者	通行目的
1	1月12日（木） 20:06	佐倉市 木野子	市道	電機・ガス業50歳代（男） 普乗	50歳代（女） 歩行者【死亡】	業務
2	1月25日（水） 7:20	四街道市 鹿放ヶ丘	市道	建設業70歳代（男） 普乗【死亡】	単独死亡事故	業務
3	1月29日（日） 8:12	匝瑳市 山崎	市道	卸売・小売業20歳代（男） 普乗	50歳代（男） 軽乗【死亡】	業務
4	2月13日（月） 9:55	旭市 西足洗	市道	建設業30歳代（男） 大貨	40歳代（男） 歩行者【死亡】	業務
5	2月16日（木） 20:46	市川市 香取	市道	運送・郵便業40歳代（男） 軽二輪【死亡】	単独死亡事故	業務
6	3月4日（土） 13:35	いすみ市 日在	駐車場	卸売・小売業60歳代（男） 中貨	80歳代（女） 歩行者【死亡】	業務
7	3月6日（月） 14:48	八千代市 ゆりのき台	市道	卸売・小売業60歳代（男） 普貨	80歳代（女） 歩行者等【死亡】	業務
8	3月22日（水） 13:46	市川市 田尻	高速道	サービス業30歳代（男） 中貨【死亡】	50歳代（男） 準中貨	業務
9	5月24日（水） 19:50	富津市 篠部	国道 465号	宿泊業50歳代（男） 普乗	30歳代（男） 歩行者【死亡】	通勤
10	6月7日（水） 4:55	松戸市 古ヶ崎	県道	医療・福祉60歳代（男） 軽乗【死亡】	60歳代（男） 大貨	通勤
11	6月22日（木） 19:50	大網白里市 駒込	県道	医療・福祉30歳代（女） 軽乗	50歳代（男） 歩行者【死亡】	通勤
12	7月18日（火） 17:55	松戸市 小金原	市道	医療・福祉50歳代（女） 軽乗【死亡】	70歳代（男） 中貨	通勤
13	9月17日（日） 17:00	君津市 八幡	市道	サービス業40歳代（男） 軽二輪【死亡】	70歳代（男） 普乗	通勤
14	11月2日（木） 17:57	山武市 松尾町八田	市道	建設業40歳代（男） 普乗	80歳代（女） 歩行者等【死亡】	通勤
15	11月10日（金） 5:44	市原市 玉前西	国道 297号	建設業50歳代（男） 普乗	60歳代（男） 歩行者【死亡】	業務

令和5年中における死亡事故の主な特徴は次のとおりです。

(1) 死亡事故が著しく増加しています。

本年の交通死亡事故は15件、死者15人となっており、令和4年中の11件、死者11人を大きく超える結果となりました。

(2) 歩行者が死亡した事故が15件中8件（令和4年中4件）で、歩行者が犠牲となる比率が高いのが本年の特徴です。

(3) 15件中9件が業務運転中に発生しており、令和4年の4件を大きく上回っています。

(4) 第一当事者15人中6人が自らの過失により死亡しているのも本年の特徴です。

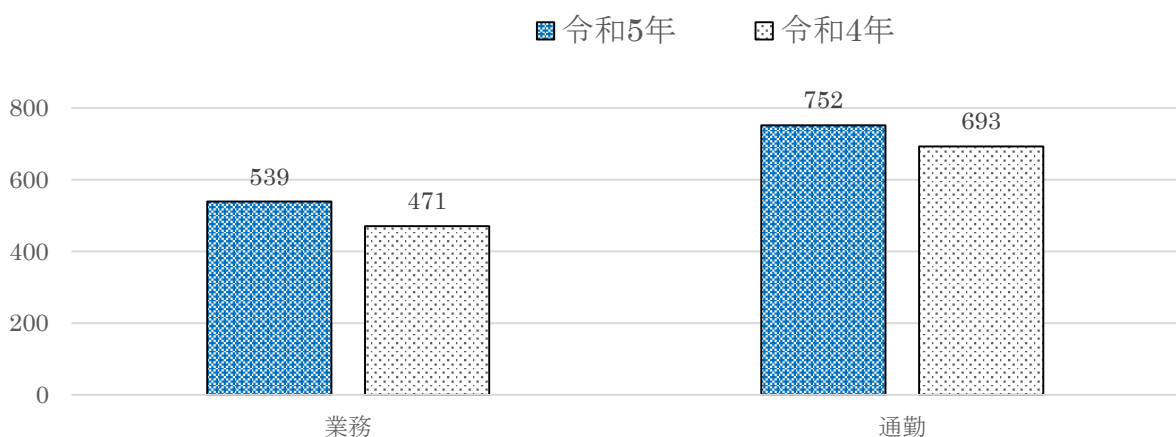
2 安全運転管理者等選任事業所の交通事故発生状況（千葉県内）

		12月中				累 計			
		令和5年	令和4年	増減数	増減率	令和5年	令和4年	増減数	増減率
発生件数		125	127	-2	-1.6	1,291	1,164	127	10.9
昼	日の出1時間後	9	15	-6	-40.0	46	64	-18	-28.1
	その他昼	61	58	3	5.2	823	701	122	17.4
	日の入1時間前	8	4	4	100.0	94	69	25	36.2
	昼計	78	77	1	1.3	963	834	129	15.5
夜	日の入1時間後	7	11	-4	-36.4	93	112	-19	-17.0
	その他夜	34	35	-1	-2.9	203	199	4	2.0
	日の出1時間前	6	4	2	0.0	32	19	13	68.4
	夜計	47	50	-3	-6.0	328	330	-2	-0.6
死者数		0	1	-1	-100.0	15	11	4	36.4
負傷者数		150	154	-4	-2.6	1,541	1,386	155	11.2
重傷者数		18	13	5	38.5	143	117	26	22.2
軽傷者数		132	141	-9	-6.4	1,398	1,269	129	10.2

令和5年中における安管選任事業所従業員に係る交通事故は、昨年同期に比べ発生件数が+10.9%、死者数が+36.4%、負傷者数が+11.2%と大幅に増加しています。

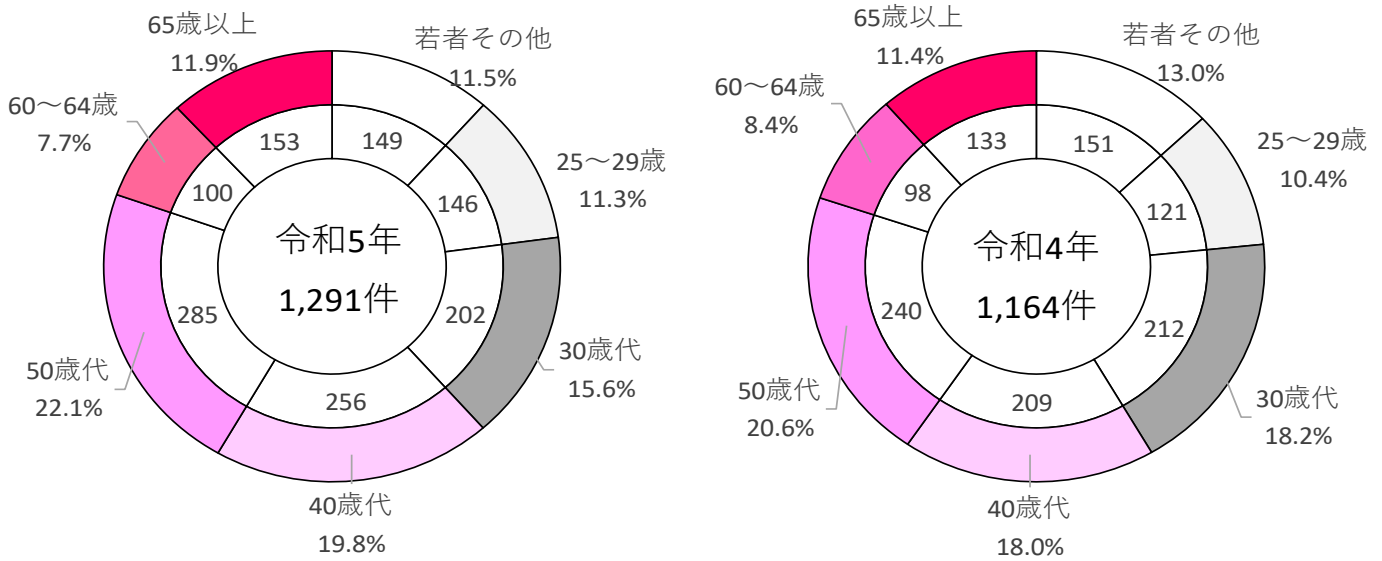
3 第1当事者の運行目的別発生状況

(人)



運行目的別では業務中より通勤中の事故の方が多くなっています。マイカー通勤中の交通事故であっても、民法上の「使用者責任」により、雇用主等が賠償責任を負うことがあります。通勤中の安全運転管理にも取り組んでください。

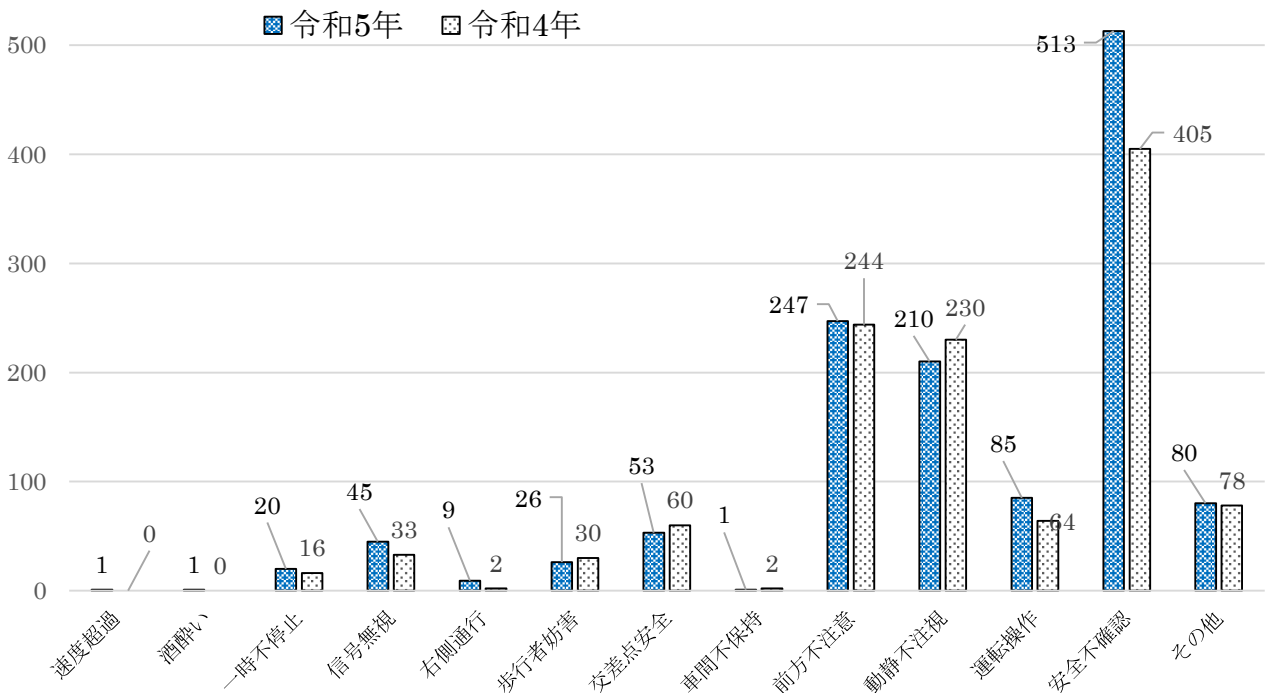
4 第1当事者の年齢層別発生状況



若者その他と30歳代は昨年と比べやや減少していますが、他の年代は全て増加しており、40歳代が+47件、50歳代が+45件となっています。

5 第1当事者の違反・原因別発生状況

600 (件)



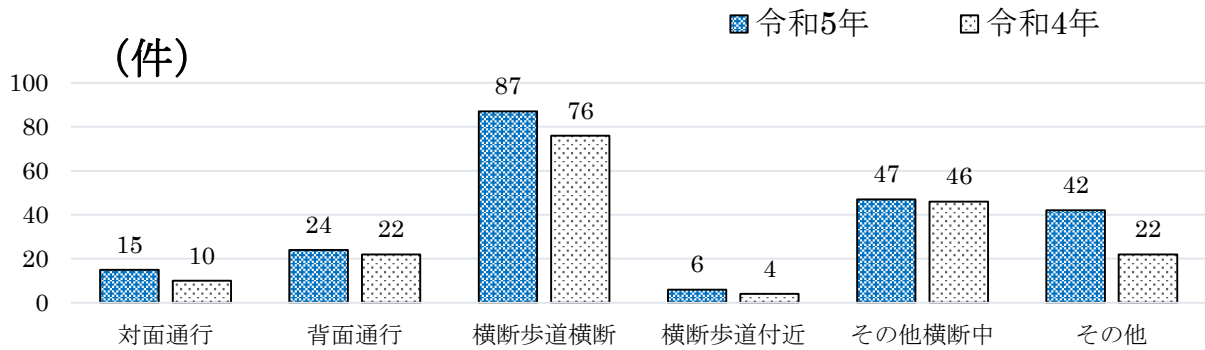
事故原因は、前方不注意、動静不注意、運転操作不適、安全不確認などの安全運転義務違反が計1,055件で事故原因の81.7%を占めています。

また、酒酔い運転による事故が1件発生しています。アルコールチェックを確実にし、飲酒運転の根絶を図ってください。

注1：酒気帯び運転は事故原因として計上されていません。また、運行目的が買い物やレジャーなどプライベートな場合は計上されていません。

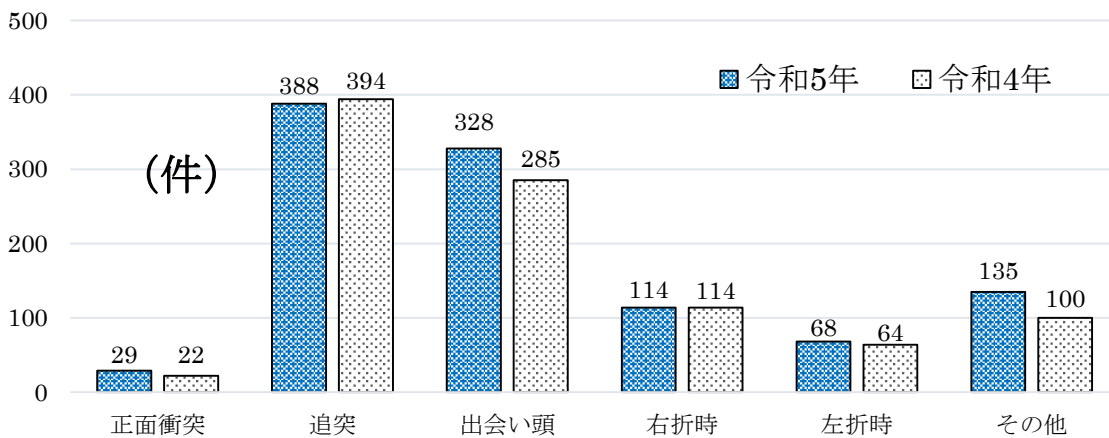
6 事故類型別発生状況

(1) 人対車両 (計 221 件)



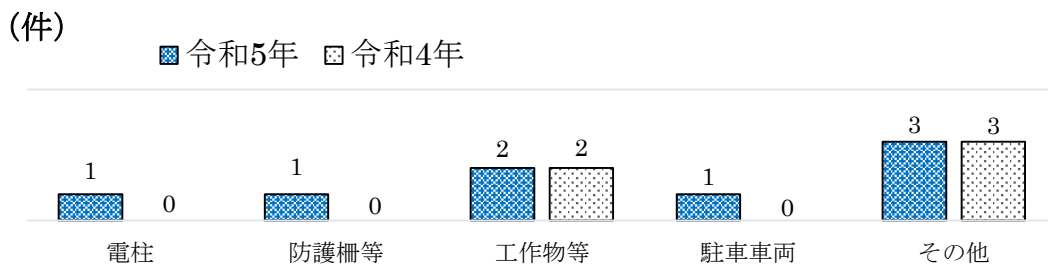
横断歩道横断中の歩行者は最も保護されるべき交通パートナーですが、人対車両事故 221 件中、横断歩道横断中の事故が 87 件（前年比+11 件）と最も多くなっています。右折または左折して横断歩道を通る際に歩行者の発見が遅れて接触する事故が多いので、交差点を右折又は左折する際は歩行者の有無に注意するよう指導してください。

(2) 車両相互 (計 1,062 件)



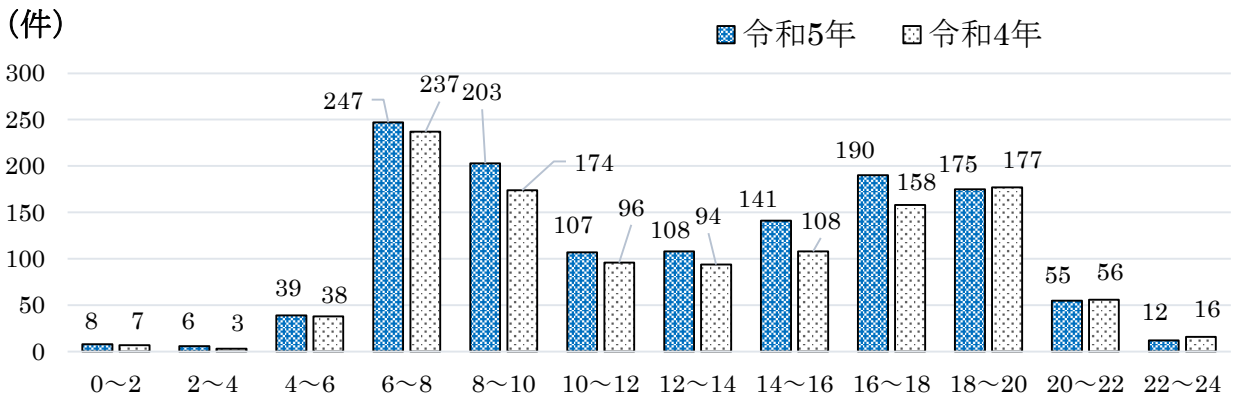
最も多い事故形態は追突（388 件、全事故の 30.1%、前年比-6 件）でした。次に多かったのは出合い頭（328 件、同 25.4%、同+43 件）です。出合い頭事故が追突に迫る勢いで増加しているのが本年の特徴となっています。出合い頭事故は追突事故に比べ重傷事故になりやすいので、信号機のない交差点では徐行、または一時停止と安全確認を徹底して下さい。

(3) 車両単独 (8 件)



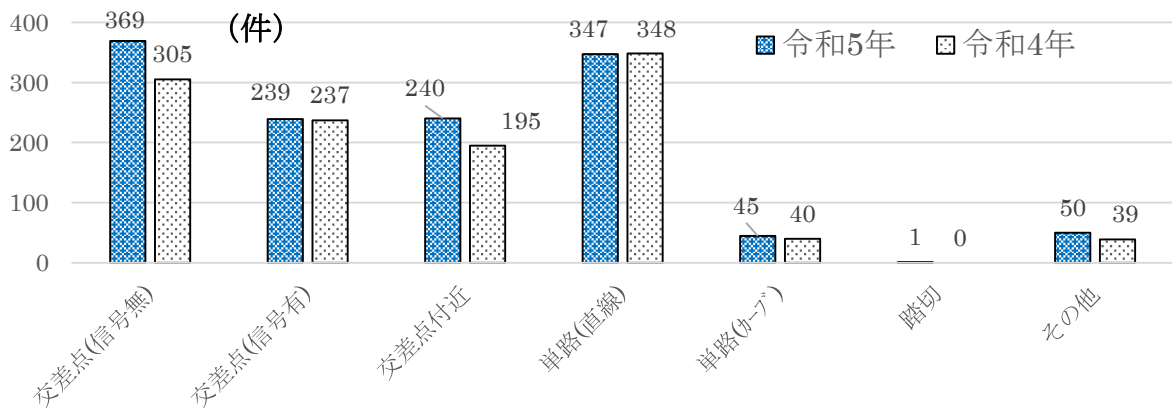
単独事故は 8 件（前年比+3 件）で内 2 件が死亡事故です。

7 時間帯別発生状況



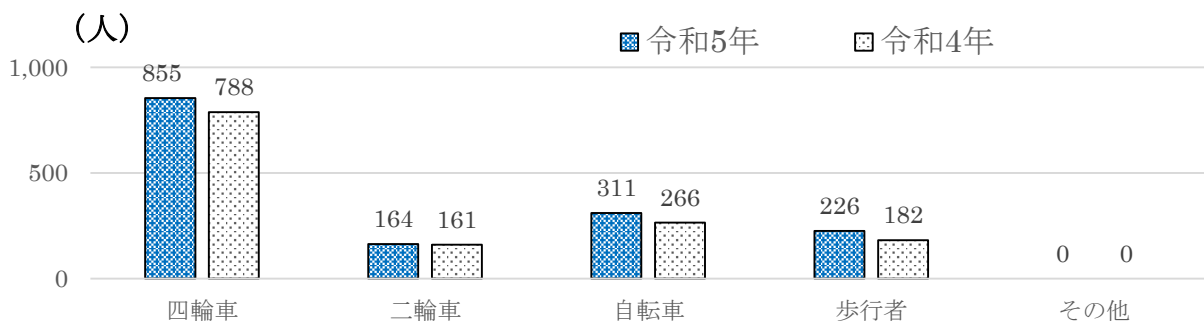
時間帯別で最も多かったのは、6時から8時までの時間帯に247件（全事故の19.1%、前年比+10件）でした。また、6時から10時までの時間帯に450件（同34.9%）、16時から20時までの時間帯に365件（同28.3%）の事故が発生しており、朝夕の通勤時間帯の事故が多くなっています。

8 道路形状別発生状況



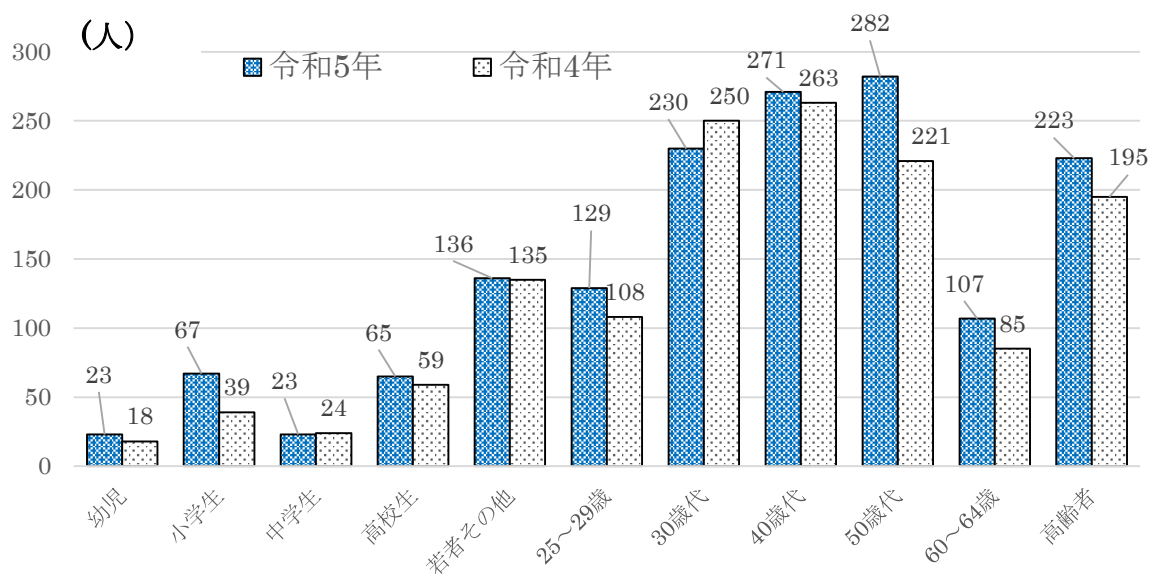
道路形状別では、交差点（信号なし）が369件（前年比+64件）、交差点付近が240件（同+45件）と増加しています。信号なしの交差点での事故が増加している要因の一つとして、6の（2）で触れた出会い頭事故の増加が影響していると考えられます。

9 死傷者の状態別発生状況



四輪車乗車中が最も多く855人（55.0%、前年比+67人）、次いで自転車の311人（20.0%、同+45人）でした。歩行者の死傷者数は226人（14.5%、同+44人）ですが、死者は8人で、歩行者の死傷者は28.3人に1人が亡くなっています。歩行者以外の死傷者は190人に1人が亡くなっていますので、対歩行者事故は死亡事故に発展する可能性が高くなっています。

10 死傷者の年齢層別発生状況



死傷者が最も多いのは50歳代の282人（18.1%、前年比+61人）であり、昨年の3位から最多の年齢層になっています。

高齢者の223人（14.3%、同+28人、3位）の増加も目立っています。